

事 務 連 絡
平成30年12月26日

各都道府県・指定都市・中核市教育委員会家庭教育支援担当課長
各都道府県・指定都市・中核市家庭教育支援担当課長 殿

文部科学省総合教育政策局
地域学習推進課家庭教育支援室

平成30年度全国家庭教育支援研究協議会の開催について（通知）

日頃より家庭教育支援の推進に御協力いただき、感謝申し上げます。

文部科学省では、社会全体の協働による家庭教育支援の活性化を図るため、地域住民、学校、行政（教育・福祉関係機関）、NPO、企業等の関係者が一堂に会する機会を設けて、これまでの研究成果事例や地域・企業等が実践する効果的な取組事例等を活用した研究協議を行い、全国的な啓発を行っています。

平成30年度においても、下記及び別添のとおり開催することとなりました。

については、より多くの方に本研究協議会へ御参加いただけるよう、貴管内関係機関・団体及び域内の市町村教育委員会への周知・参加促進について、御協力をよろしくお願い申し上げます。

記

○平成30年度全国家庭教育支援研究協議会

テーマ：「地域の多様なアプローチによる家庭教育支援の推進方策について」

日 時：平成31年2月12日（火）～13日（水）

場 所：文部科学省東館3階講堂（東京都千代田区霞が関3-2-2）

※12日は「教育格差解消プラン全国協議会」との合同開催となります。

文部科学省総合教育政策局
地域学習推進課家庭教育支援室
永野、鶴巻、千葉

TEL：03-5253-4111（内線3467）

FAX：03-6734-3718

Mail：katei@mext.go.jp



地域の多様なアプローチによる 家庭教育支援の推進方策について

近年、核家族や地域社会のつながりの希薄化等を背景として、子育ての悩みや不安を抱えたまま保護者が孤立してしまうなど、家庭教育が困難になっている現状が指摘されています。

全ての保護者へのきめ細かい支援を充実させていくには何が必要か。また、子供たちの基本的な生活習慣を含めた育ちを支援するためには何が必要か。

学校・家庭・地域の連携・協働により、地域全体で家庭教育を支えていくための課題や取組の方向性について考えます。

平成31年

日時

2月12日 火
13:00~18:30

2月13日 水
10:00~16:15

※12日は「教育格差解消プラン全国協議会」との合同開催となります。

基調講演



「子育てにおけるスマホと生活習慣など」

川島 隆太氏

(東北大学加齢医学研究所所長)

平成26年より現職である東北大学加齢医学研究所所長となり、平成28年より東北大学スマート・エイジング学際重点研究センターセンター長を兼務。「早寝早起き朝ごはん」全国協議会副会長。脳科学の知識を広く社会に啓蒙・普及。著書に「スマホが学力を破壊する」(集英社新書)「元気な脳が君たちの未来をひらく」(くもん出版)「読書がたくましい脳をつくる」(くもん出版)など、300冊以上を出版。



「家庭教育支援のための相談スキル」

秋山 邦久氏

(常磐大学人間科学部心理学科教授)

秋田県職員(心理判定員)として児童相談所、福祉事務所等に16年間勤務後、複数の大学院で臨床心理士養成に携わる。現在、越谷心理センター顧問。年間100件以上に及ぶ各地の講演では定員を大幅に上回る申し込みがあるなど大好評。著書に「臨床家族心理学」(福村出版)「中学校 技術・家庭科用 文部科学省検定済教科書」(教育図書)「カウンセラーのための104冊」(創元社)「軽度発達障害へのブリーフセラピー」(金剛出版)など多数。

パネルディスカッション

12日「教育と福祉の連携による家庭教育支援の取組」

コーディネーター 山野 則子氏(大阪府立大学教授)

13日「子供の生活習慣づくりの多様な取組」

コーディネーター 鈴木 みゆき氏

(国立青少年教育振興機構理事長)

会場 文部科学省 東館3階講堂

東京都千代田区霞が関3-2-2

参加対象者 行政関係者(教育・福祉)、NPO・民間団体、地域支援関係者など

定員 300名(先着)

参加費 無料

申込方法

裏面参照

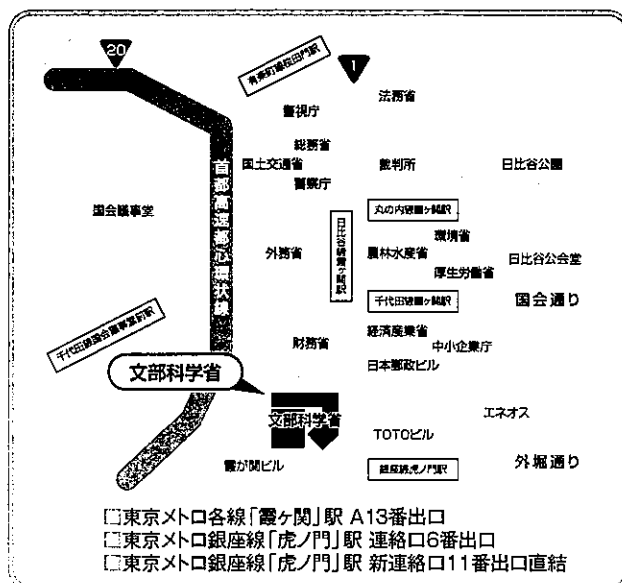
ワークショップ

「持続的な家庭教育支援を考える

ワールド・カフェ」

カフェのようにくつろいだ雰囲気の中、小グループで席替えを繰り返しながらざっくばらんに話し合い、議論を深めます。

ファシリテーター 松田 恵示氏(東京学芸大学副学長)



〈主催〉文部科学省 〈後援〉厚生労働省

〈お問い合わせ〉文部科学省総合教育政策局地域学習推進課家庭教育支援室 TEL: 03-6734-3467

プログラム

1日目【12日(火)】

12:30~13:00 ●受付

13:00~14:20 ●教育格差解消プラン全国協議会

「教育と福祉の連携による家庭教育支援事業
(訪問型家庭教育支援等)」

事例報告：高萩市教育委員会(茨城県)

※このセッションは「教育格差解消プラン全国協議会」との合同開催のため、全体の開会行事のほか「図書館資源を活用した困難地域等における読書・学習機会提供事業」「学びを通じたステップアップ支援促進事業」の事例報告も予定しています。

14:35~14:45 ●開会行事

14:45~16:45 ●パネルディスカッション①

「教育と福祉の連携による家庭教育支援事業
(訪問型家庭教育支援等)」

コーディネーター：山野 則子氏(大阪府立大学教授)

パネリスト：大東市教育委員会(大阪府)

能勢町教育委員会(大阪府)

岩国市教育委員会(山口県)

16:45~17:00 ●休憩

17:00~18:30 ●実践交流会

参加申込みについて

文部科学省ホームページにある、お申込みフォームからお申込みいただくか、下記に必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。

【URL】 http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/katei/1411822.htm

FAXでのお申し込みは **03-5395-1206** まで



申込
期限 平成31年
1月31日(木)

2日目【13日(水)】

9:30~10:00 ●受付

10:00~10:05 ●開会・挨拶

10:05~11:05 ●基調講演①

川島 隆太氏(東北大学加齢医学研究所所長)

「子育てにおけるスマホと生活習慣など」

11:10~12:20 ●パネルディスカッション②

「子供の生活習慣づくりの多様な取組」

コーディネーター：鈴木 みゆき氏

(国立青少年教育振興機構理事長)

パネリスト：中谷 通恵氏

(北海道立家庭支援センター「ひまわり」コーディネーター)

木田 哲生氏

(大阪府堺市教育委員会)

内田 公生氏

(徳島県三好市立辻小学校校長)

12:20~13:20 ●昼食休憩

13:20~14:20 ●基調講演②

秋山 邦久氏(常盤大学人間科学部心理学科教授)

「家庭教育支援のための相談スキル」

14:20~14:35 ●休憩

14:35~16:15 ●ワークショップ

「持続的な家庭教育支援を考える

ワールド・カフェ」

ファシリテーター：松田 恵示氏(東京学芸大学副学長)

16:15 ●閉会

お名前	ふりがな		所属団体名等
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
参加希望日	両日参加 ・ 12日のみ ・ 13日のみ		
ワークショップへの参加	参加する ・ 傍聴で参加する	託児希望	希望する ・ 希望しない

※FAXで参加申込みをされる方は、受付完了のお知らせを送付するため、必ずFAX番号をご記入ください。



文部科学省は、
身近な地域において保護者への支援を行う
家庭教育支援チームの設置や
活動を促進しています。



文部科学省は、
「早寝早起朝ごはん」全国協議会と
連携して「早寝早起朝ごはん」国民運動を
推進しています。